

せとのあさ

題字／茶道 上田宗箇流
第十六代家元 上田宗岡

青少年育成の基本指針

(昭和52年6月1日青少年育成広島県民会議制定)

前 文

「青少年は日本の希望である」という言葉は、われわれの心を支えている標語である。ところが、青少年の非行が問題になると、明確な実施効果の見定めもつかぬままに、条例や法律の制定に期待の高まるのが実状である。しかし、青少年の非行が大人の生活の反映であるとすれば、青少年の健全育成は、大人の反省なしには実現しないであろう。大人がかつて青少年であったように、青少年はやがて大人になるのである。人間の生涯は、多様な価値観の個性的選択による自己教育の連続であるといえよう。

ここに制定された青少年育成の基本指針は、ただ青少年育成のあり方を抽象的に示したものに過ぎない。それは、各地域の実状に応じて具体化されることが期待される。総括的にいえば、資源の乏しさを克服して、相当高い生活水準に到達している現代日本において、青少年は将来どのような展望をもって進んだらよいか、これが最大の課題である。

われわれは、青少年の前途に幸福の「青い鳥」の夢を託したい。

青少年育成の基本指針

- (個人) — 個性の独自性に対する自覚にもとづき、その価値可能性を錬磨し、生涯教育の基礎をつくる。
- (社会) — 家庭の愛情にはぐくまれ、社会生活において、友情と連帯の意識を養う。
- (自然) — 国土の自然を愛護するとともに、地域社会の文化を尊重し、環境の教育的整備につとめる。
- (世界) — 諸民族の生活と文化を理解し、平和と親善の心をこめて、国際交流に寄与する。
- (総括) — 日々の生活のなかに、生きがいを求めてわが道を行き、一隅を照らす光となる。

第27回 定時総会 開催のご報告

第27回総会を 広島YMCA国際文化ホールで開催

公益社団法人 青少年育成広島県民会議は、平成27年6月17日(水) 13:30～15:30に「第27回定時総会」を広島YMCA国際文化ホールで開催いたしました。

湯崎広島県知事、平田県議会議長をはじめ、多くの来賓にご臨席いただき、表彰式、報告事項、審議事項、総会決議等が採択されました。

また(公社)青少年育成広島県民会議の青少年育成指導者派遣講師で、国際交流による支援活動を続けている加藤恒光さんに「多様化する国際社会と青少年」についてご講演をいただきました。



上田会長



湯崎県知事

青少年育成広島県民会議表彰

優れた行為のあった青少年や地域で自主的な活動を積極的に続けている青少年育成功労者及び団体を、毎年、定時総会で表彰しています。

平成27年度の青少年育成広島県民会議表彰を受賞された皆様をご紹介します。



青少年育成功労者

伊藤 修太 (広島市)	益本 義信 (広島市)
浦田 登 (広島市)	松島 茂 (広島市)
岡崎 京子 (広島市)	光永 暢博 (広島市)
奥田政次郎 (広島市)	山田 忠美 (広島市)
川本 雅宏 (広島市)	横川 栄子 (広島市)
北村 昭夫 (広島市)	横田 泰行 (広島市)
吉川 光司 (広島市)	渡辺 葉子 (広島市)
佐伯 輝夫 (広島市)	荒川 正気 (呉市)
重村 俊幸 (広島市)	土谷 攝子 (三原市)
白倉 節男 (広島市)	河野 弘 (尾道市)
末永喜久男 (広島市)	杉原 重光 (尾道市)
瀬崎 雅史 (広島市)	杉原 新一 (尾道市)
田口 圭子 (広島市)	高垣 恵子 (尾道市)
竹本 典子 (広島市)	山本 宏一 (尾道市)
手賀 剛 (広島市)	横田 貞子 (尾道市)
動道 博幸 (広島市)	上野 富雄 (三次市)
中嶋八千代 (広島市)	泊野 数子 (廿日市市)
永町 正幸 (広島市)	新田 孝三 (廿日市市)
西谷 英夫 (広島市)	川本 英輔 (坂町)
原田由美子 (広島市)	久保 光吉 (世羅町)
平田 龍男 (広島市)	

青少年

中村 貴史 (広島市)	山下 颯也 (広島市)
日浦 博昭 (広島市)	桐野 友花 (呉市)

青少年育成功労団体

安佐クラブスポーツ少年団	(広島市)
矢野空手道スポーツ少年団	(広島市)
今津野公民館子どもお茶教室	(尾道市)
府川町鐘太鼓打上げ保存会	(府中市)
羽佐竹子ども神楽団	(安芸高田市)

模範活動団体

広島県立瀬戸田高等学校しまおこし事業部	(尾道市)
ふくやまローズ・ジュニア合唱団	(福山市)

(敬称略)

加藤恒光さんによる講演会を開催

総会講演

【演題】多様化する国際社会と青少年
【講師】加藤恒光氏

〈加藤恒光プロフィール〉

昭和24年(1949年)宮城県生まれ。東京で通信社カメラマンとして勤務。その後、総理府(現内閣府青年の船リーダー)参加、JICA(国際協力機構)カメラマン、日本ユネスコ協会カメラマン等で中南米、アフリカ、アジア等40カ国以上撮影取材。現在、(公社)青少年育成広島県民会議の青少年育成指導者派遣講師として、地域と国際交流について語る傍ら、定期的にチャリティーコンサートを開催し国際支援活動を続けている。タイ・ラオス国境で国際ボランティア活動をしているグループの支援活動も続けている。



加藤恒光さん講演内容(抜粋)

県民会議と関わらせてもらったのはもう25年前の平成2年からです。

その年の総務省の資料があるのですが、それを見ますと15才~19才で地域活動した人は3%、催事に参加したことのある人は34%でした。

また、「放課後に何をするか」を見ますと、友だちとテレビゲーム48%(小学4年生~6年生)というのが目につきました。当時もすでにゲームで遊ぶ率は高かったんですね。それから25年、多様化が進み、インターネットも当たり前になった世の中、子どもを育てる親たちも情報の選択が大変だろうと思っています。

さて、演題は「多様化する国際社会と青少年」ですが、いろいろな観点で様々な方々が語られていることでもあり、今日はちょっと視点を変えてお話ししたいと思います。

私の知り合いですでにリタイアされた70代のご夫婦がいらっしゃいます。ご夫婦は東北生まれの私と同じで温泉好きということもあり、孫を連れて温泉旅行に行くということで、私も同行いたしました。その孫は、お父さんのDVで離婚し母子家庭で引きこもり状態でした。道中での孫の話はもっぱらゲームのことでした。

彼が言うには、最近のゲームで非常に人気のあるのが、中央アメリカのニカラグアを舞台にした70年代後半の革命を題材にしたものだとか。非常にリアルなゲームで、独裁政治を打ち破り革命を成し遂げるもの。その孫は小さい頃に誕生日のケーキをお父さんに蹴られたりして、絶対的な権力を倒すことや正義には敏感だったんだと思います。

私は「ゲームに出てくる大統領の名前はソモサッというんじゃない?」と孫に言うと彼は「よく知っているね、ゲームやったことあるの?」と聞いてきました。それで、「当時、僕は取材でそこにいたんだよ」と説明すると、「え、そうなんですか?ありえない!」と目を輝かせました。「チェ・ゲバラやカストロも出てこない?」というふうにご話すと、ますます興味津々に当時の話を聞きたがりました。

旅行から帰って、孫は友だちに自慢したようです。でも、友だちは信じなかった。じゃ、会わせてよ、ということになり、5人くらい連れて私のところに来ました。そこで、さらに詳しく革命軍の過酷な現実のニカラグアの話をしました。ゲームの世界ですが、その現場に私がいた、ということが本当たと分かり、友だちは孫に一目を置いたようです。

ゲームの話はカッコいいことばかりです。当時のゲリラの状況は過酷なものでした。シャーガス病というカメムシみたいな虫に刺されると体内に寄生虫が入り込み死に至るといいます。マラリアみたいな症状で中南米には800万人のキャリアがいるといわれています。その病気で現在でも年間1万2千人も亡くなっているようです。当然、多くのゲリラも苦しみながら死んでいきました。貧困のために戦う彼らには、当然、食べる物も満足にありません。泥水を飲んだりしてしのいでいました。そんな話を子どもたちにしました。ゲームの世界はかっこよく脚色されているだけなのです。私が行った世界各国のいろいろな話を聞かせているうちに、その孫が「加藤さんと旅をしたい」と言うようになりました。「英語力もいるし日本語の理解力も必要。勉強しないとそういう旅には連れていけないよ」と私はそう言いました。そうしたら一生懸命勉強するようになりました。学校にもよく通っています。



エルサルバドルでニカラグアの取材の後、日本人の誘拐事件が起こりました。そのため外務省法人保護課から現地にスタッフが来ました。地域紛争があると法人保護で動くことが法律で決まっています。場合によっては彼らが法人保護の元に実行犯と交渉をします。あるとき偶然、そんな外交官とホテルが一緒になりました。

「やあ、加藤君、こんな場所に何度も来るなんて、エスカレートすると命はいくらあっても足りないよ、もうちょっとニュートラルになれる安全な活動で、例えば青年の船とか、世界のいろんな青少年と

交流したほうがいいんじゃないか」と言われました。また、「特に向こうから声をかけてくるのは気をつけたほうがいい」とも。それを機にさらに海外で活動を広げるようになりました。

エルサルバドルのあとは、ペルーへ移民して志半ばで亡くなった祖父を弔うために、ペルーの日系人を尋ねては三味線を披露して当時の祖父の話聞いてまわりました。1ヶ月くらい掛かって、ペルーの北部で、日系人が入植したところですが、トルフィーヨという町でおじいさんの墓をなんとか見つけました。協力してくれた日系人の伊藤一男さんがペルー80年史という記念誌でこの三味線供養のことを掲載してくれました。

その後、外交官からのアドバイスもあり、国や県の派遣事業に携わるようになり、1979年に広島県日中友好青年の翼に参加し中国へ行きました。また、その翌年1980年は日本ユネスコ協会の活動でカンボジアの国境地帯へ行きました。UNHCR顧問で元カンボジア大使の栗野鳳(くりのおおとり)先生にお世話になり正式な手続きを経て国境を越えました。国境はマラリアで大変でした。入国する前に薬を飲まなければいけません。ファンシダールやクロロキニーネという薬です。戦争に行った父親との昔の記憶で、父親が話していたクロロキニーネを服用。ファンシダールを飲んだ人は副作用で肝臓をやられたようです。父親のおかげで助かったようなものですね。現地の国境の最高司令部に所属する人から、「もっと奥地に行きたいんならお金だせばなんとかなるよ」と言われました。この旅の目的は難民キャンプにいる子どもたちの教育視察であり、どんなボランティアが必要かを視察しに行くことなので断りました。向こうから言うてくる話には気をつけろ、という外交官の話もあったので。

この栗野鳳先生から「シンク・グローバリ、アクト・ローカリ」という言葉を教えてもらいました。「地球規模で、足元から行動せよ」という意味です。地元での地域活動を通じて世界を見ることもいいんじゃないか、と先生に言われました。カンボジアでは有名な戦場カメラマンも亡くなっていました。そういう危険な目に合わせたくなかったんでしょうね。そうして、私は地元(東広島市高屋)を基点にしながら活動しました。その後「総理府青年の船」のリーダーとして、勉強しながらアジア・オセアニア地区を回りました。そのご縁で、昭和43年に南極点に到達したあこがれの元南極越冬隊長の村山雅美(むらやまさよし)さんと交遊を深めることができました。村山さんにヒマラヤに誘われて4回行きました。登頂するわけではなかったのですが、その旅でもいろいろなことを教えていただきました。村山さんの最後の著書で私とのヒマラヤへの旅を紹介していただき、大変お世話になりました。村山さんがお亡くなりになられて、誰にもできないような恩返しを、と思い、ネパールのヒマラヤのふもとに村山さんの記念碑を建てました。

余談ですが、ネパールに日本語学校2つあるんですが、当時10年後には日本で介護士が30万人不足すると言われていましたので、日本で仕事ができるように、介護の勉強もしています。それで、スムーズに日本で働けるように、経済連携協定などの環境づくりでも奔走しました。村山さんの影響でした。

ゲームなどのバーチャルの世界の話に戻りますが、『グランドセルフオート』という戦争を題材とした人気ゲームが1億5千万本も世界で売られています。これはイスラム国のリクルートビデオに繋がっています。このようなゲームはかっこよさだけを見せて、あこがれさせて、洗脳するような内容になっているわけです。現にイスラム国に行く若者がこういったゲームの影響で現地に入ることが頻繁に起きています。このような戦争ゲームはとても危険。非常に巧妙に作られています。25年前の資料でもゲームで遊ぶ子どもが48%もいましたから、親の世代もすでにゲーム世代です。意外に今の親たちは子どものやるゲームに気を配らないケースも多いのではないかと感じますが、当時のゲームと今のゲームは違うと思ったほうがよいです。パソコンでのゲームは家族の目が届くところでさせるべきではないかと思えます。

三味線を演奏しながら般若心境を披露

総会報告

平成26年度事業報告、平成27年度事業計画及び収支予算についての報告、平成26年度決算書、平成26年度監査報告並びに役員を選任の審議が行われ、いずれも承認されました。



総会決議文朗読
(一社)広島青年会議所理事長 荒谷悦嗣氏



【総会決議】

平成27年度定時総会決議文を広島青年会議所理事長の荒谷悦嗣氏が朗読し、採択されました。

平成27年度 「青少年育成県民運動推進大会」を開催します!

平成27年10月31日(土) 13:00~15:50

広島県民文化センター多目的ホール

(広島市中区大手町1-5-3)

平成27年10月31日、平成27年度青少年育成県民運動推進大会を開催します。青少年健全育成成功者や家庭の日に関する作品の県知事表彰をはじめ、夢配達人プロジェクト推進事業10年間の取組から実現した夢の成果発表も行います。

皆さまのご参加をお待ちしています。入場無料。

〈問い合わせ〉

(公社)青少年育成広島県民会議 ☎082-513-2742



昨年の様子

〈大会プログラム〉

13:00~ 開会・国歌斉唱、表彰式

開会挨拶 (公社)青少年育成広島県民会議会長

来賓祝辞 広島県知事、広島県議会議長

表彰 青少年健全育成成功者等知事表彰、家庭の日に関する作品の知事表彰

13:40~ わたしたちの成果発表 ~夢配達人プロジェクト推進事業から~

〈発表〉・廿日市市立玖島小学校

「手づくりのペープサート(紙人形劇)を作って、地域を元気にしたい」

・府中町立府中小学校

「被爆者の方のお話を聞いて、それを基に作曲家と一緒に歌を作って、私たちが歌いたい」

・福山市立鞆小学校

「木造船を作り、鞆の港に浮かべて乗ってみたい」

「福山の伝統工芸品である琴を作り、たくさんの人に聞いてもらいたい」

15:50 閉会

夢配達人プロジェクトとは

小学生の夢を「夢配達人」の協力を得て地域の人たちと一緒に実行し、夢や目標を持って実践することの素晴らしさに気付いてもらうことを目的とした事業。夢に関係する憧れの人や名人などに手伝ってもらい、学校や地域の人たちと協力しながら実現することで、豊かな想像力や主体性を持った青少年を育成するとともに、地域ぐるみでの青少年育成活動の定着を図ることを目指しています。

廿日市市立玖島小学校 「手づくりのペープサート(紙人形劇)を作って、地域を元気にしたい」

(平成23年度実現)

「ペープサートで地域の人を元気にしてあげたい」という子どもたちの夢が、多くの人の協力のもとに実現しました。「夢」は学校全体で共有され、毎年地域の集会所に出前公演したり学校のふれあい会で発表したりして、多くの方に応援を頂く中で引き継がれ、平成27年3月、学校の閉校で一区切りしました。



今回の発表に向けて、地域のコミュニティが中心になり大人も参加して「子供と一緒に夢を膨らませよう」を目標にして取り組んでいます。

影絵劇はスクリーンの表も裏も「舞台」だと感じています。発表当日は一生懸命に表を支える裏方の動きも想像しながら楽しんでください。



府中町立府中小学校 「被爆者の方のお話を聞いて、それを基に作曲家と一緒に歌を作って、私たちが歌いたい」

(平成22年度実現)

平成22年、吉川晃司さんの応援で、「あの夏を忘れない」という平和を願う歌が生まれました。

児童はもちろん地域や保護者の皆さん、この歌に関わる人々の熱い思いにより、CDや歌詞額も作成しました。



地域の音楽イベント(七夕コンサート)

府中小学校の宝となったこの歌の大切さを感じ、毎年のミニ平和集会や学習発表会で全校児童が歌い継いでいます。

地域の祭やいろいろな音楽イベントにも毎年招待され、希望者が集まって練習し、学校や地域への思いを表現した「かがやけ府小っ子」、「みんなの府中町」と合わせたオリジナルソング3曲を歌って私たちの思いを発信しています。



フラワーフェスティバル

福山市立鞆小学校①「木造船を作り、鞆の港に浮かべて乗ってみたい」

(平成18年度実現)

平成17年度に製作した「ドリーム号」は、平成25年度まで、福山市と姉妹都市の関係にある岡崎市の井田小学校との交流で、毎年夏休み中に仙酔島で活躍していました。手作りの木造船ということで、井田小学校の人たちは手作りの木造船の技術や製作に至る志に感心していました。



また、ドリーム号製作にかかわって使った船道具や製作過程の写真、櫓や舵のレプリカ等を「夢配達人プロジェクトコーナー」で展示して、常時子どもたちや地域・保護者の目に触れることができるようになっています。

なお、当日は、現在大学生である夢の提案者が、夢を実現した当時の思いや、夢の実現が現在の自分にどうつながっているかを語ってくれます。



福山市立鞆小学校②「福山の伝統工芸品である琴を作り、たくさんの人に聞いてもらいたい」

(平成23年度実現)

当時制作された琴3面を含み、本校には14面の琴があります。伝統文化の継承として、昨年度は琴クラブが年間9回の発表を行ったり、3学年から6学年を対象に琴を奏でる体験授業を行ったりしてきました。いずれも特別非常勤講師の川崎みつ子先生に指導をしていただいています。昨年度の琴クラブは、校内の行事にとどまらず、鞆町民、福山市民、そして高知県や愛知県の方に琴の音色を聞いていただきました。



このような実践から、本校児童は、琴を弾くことに誇りやあこがれを持つようになりました。また、琴を通していろいろな地域やいろいろな人とつながっていきたいと考えています。



青少年育成カレッジ

青少年の育成に関わっている方や関心のある方を対象として、青少年の心と体、行動、環境などの理解を促進するため県立広島大学と連携して「青少年育成カレッジ」を開催します。

青少年育成カレッジ【総合講座】

内容 **〈第1回〉平成27年11月28日(土) 10:00~15:30**

「発達障害がある青少年の理解と支援 ～発達外来のめざすもの～」
(担当教員) 作業療法学科 教授 林 優子 氏 (附属診療センター長)

受講料無料

※公共交通機関を利用しておいでください。

内容 **〈第2回〉平成27年12月5日(土) 10:00~15:30**

「発達障害がある青少年の理解と支援 ～発達を応援する作業療法～」
(担当教員) 作業療法学科 教授 土田 玲子 氏



会場 **サテライトキャンパスひろしま 5階 505講義室**

(広島市中区大手町1丁目5-3 広島県民文化センター)

〈アクセス〉○JR広島駅から…電車・バスで約10分

○広島港から…電車・バスで約30分

○広島バスセンターから…徒歩約3分

○山陽自動車道広島ICから…車で約30分

受講資格 広く青少年に関わる活動や仕事をしている人、青少年育成活動に関心のある方

定員 **毎回60名**

(定員になり次第締め切ります)

〈履修認証制度〉

所定の20単位(1講座1単位)を修得された方に、学習したことを評価して「認証状」を発行します。



平成27年度「家庭の日」作文・図画募集

健全で明るい家庭は、家族みんなで話し合い、家族みんなで楽しみ合い、家族みんなで力を出し合うことによって築かれます。

青少年育成広島県民会議では、毎月第3日曜日を「家庭の日」として定め、明るい家庭づくりの運動を展開しています。

この運動が広く地域に浸透し、多くの家庭で実践されることを願って、小・中学生が、家族や家庭について日頃思っていることや感じていること、家族と一緒に体験したことなどを作文や図画に表現した作品を募集します。

【対象者】県内に在住の小・中学生

【応募方法】〈作文〉・400字詰め原稿用紙3枚程度とします。

・縦書きとし、はっきりと書いてください。

・題の次に、学校名・学年・名前(ふりがな)を記入してください。

〈図画〉・作品は4つ切りの画用紙とします。

・画材は自由です。(クレパス、水彩絵の具等)

・「図画応募用紙」に記載し、作品の裏に貼付してください。

・作品のコメントも忘れずに記載してください。

【応募締切】平成27年9月10日(木)

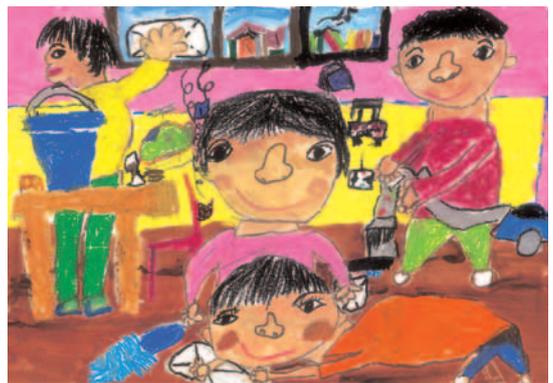
【審査・発表】(1)応募作品は、審査委員会を設けて厳正に審査し、入賞作品を決定します。

(2)特選者には、青少年育成県民運動推進大会(10月31日開催)において、広島県知事から賞状及び賞品を授与し、併せて副賞として5万円の旅行券を贈ります。

(3)入選者には、賞状及び賞品を贈ります。

(4)応募者全員に、参加賞を送ります。参加校は必ず応募者の控えをお持ちください。

(5)入賞作品は、当県民会議発行の入賞作品集や情報誌など、広報用として活用させていただきます。



広島市立飯室小学校2年(当時) 安間伊吹さん

「少年の主張」・中学生話し方大会2015

21世紀の国際社会に生きる子どもたちには、論理的に物事を考える力、自分の主張を正しく伝える力、広い視野と柔軟な発想や創造性などを身につけることが求められています。

この大会は、中学生が話すことによって伝える力を育み、学び合う機会となるとともに、意見発表を通して、中学生への理解と認識を深めてもらうことをねらいとする事業です。

開催日時 平成27年9月19日(土) 9:30~15:00

会場 エソール広島 (広島市中区富士見町11-6 TEL.082-242-5252)

【対象者】広島県内の中学生

【主催】公益社団法人青少年育成広島県民会議・広島県中学校話し方連盟
独立行政法人国立青少年教育振興機構

【応募方法】申込書に原稿を添えて、中学校長を経由して提出する(原稿は返却しない)。

ただし、市町、青少年育成市町民会議等の類似の大会で入賞した中学生の応募も可とする。

この場合、市町等においてその旨を付記して、市町等から提出するものとする。

原稿はB4判400字詰原稿用紙を使用すること。

【応募締切】平成27年8月10日(月)必着

【表彰】広島県知事賞・(公社)青少年育成広島県民会議会長賞・広島県中学校話し方連盟会長賞・国際ソロプチミスト広島会長賞・広島清流ライオンズクラブ会長賞(各1名)、優秀賞(6名程度)及び優良賞を選考し賞状を贈る。

【副賞】この大会で、広島県知事賞、(公社)青少年育成広島県民会議会長賞、広島県中学校話し方連盟会長賞、広島清流ライオンズクラブ会長賞、国際ソロプチミスト広島会長賞を受賞した5名には、副賞(約1週間の海外研修)が(公財)広島青少年文化センターから授与される。

(期間)平成28年8月上旬予定 (訪問先)韓国



平成26年度に発表された皆さん

平成27年度 市町民会議ネットワーク研究・交流会

本年度事業

地域における青少年育成活動を推進していくために、市町民会議の構成員、青少年育成地域リーダー及び青少年育成県民運動実践員が相互に連携することが重要である。そのために、青少年健全育成関係者が一堂に会して情報の共有化、育成活動や市町民会議の活性化の方策等について研究協議する。

期 日 平成27年9月11日(金)

会 場 三次市民ホール きりり(サロンホール)
(三次市三次町111-1 TEL.0824-62-2222) ※無料駐車場有
(アクセス) ○三次インターチェンジから…車で約3km
○三次東インターチェンジから…車で約4km

参加対象者 青少年育成市町民会議の構成員、
青少年育成地域リーダー、
青少年育成県民運動実践委員、
各市町で青少年育成活動を担うリーダーとして期待される若い世代



日 程

- | | | | |
|-------------|--|-------------|--------------------------|
| 10:00～ | 受付 | 13:00～13:50 | 実践発表1
品の滝での夢配達人事業の取組み |
| 10:45～ | 開会 | 14:00～14:30 | 実践発表2 君田村塾の取組み |
| 11:00～12:00 | 講演会
(三次の唐麵…若者たちの挑戦!)
三次商工会議所青年部
梵大英(そよぎだいえい)氏 | 14:40～16:40 | 実技…スポーツ吹き矢の体験 |
| 12:00～13:00 | 昼休憩 | 16:45～16:50 | 閉会・事務連絡 |
| | | 17:30～ | 交流会(君田温泉 森の泉) |



平成26年度 福山市で開催時の風景

青少年育成指導者派遣事業について

県内の市区町民会議において開催される学習活動や講演会等に青少年育成指導者を派遣し、講演等を行うことによって青少年の健全育成や社会環境浄化の啓発を図り、県民運動の推進に資するものです。

市区町民会議が主催、共催する講演会等の事業が対象です。

〈青少年育成指導者リスト〉

名前(住所)	職業・主な役職、プロフィール	専門分野、講演テーマ
安藤 周治 (あんどう しゅうじ) (三次市)	柏屋安藤製菓舗代表/NPO法人ひろしまNPOセンター代表理事/NPO法人ひろしまね理事/広島県生涯学習審議会委員/マツダ財団評議員/ひろしま国際交流サミット幹事/総務省通商問題懇談会委員/内閣府地域活性化伝道師/国土交通省水の里の旅のコンテスト審査委員長/コミュニティ政策学会理事	地域づくりやコミュニティ活動、集落・自治組織活動支援 「まちづくりから青少年を考える」 「私がかわり、まちがかわる」 「地域の宝、青少年と地域を創る」
石田 睦子 (いしだ むつこ) (三次市)	親業訓練シニアインストラクター/コミュニケーションリーダー 一級/三次市の不登校児童生徒の保護者の教育相談/学校評議員/三次市教育委員会社会教育委員/三次市個人情報保護制度審議会委員	子育て・親育てコミュニケーション 「子どもの自立と意欲を育てる接し方」「子どもに愛が伝わっていますか」 「子どもの未来の扉を開く」「語りかけよう!親の本音」 「親業」子どもの安心・安全を守るために一学ぶ力・生きる力を育む
今田 弘武 (いまだ ひろむ) (広島市)	日本けん玉協会西中国・四国地区総支部長、国際指導員/日本けん玉協会認定八段/剣道四段(日本剣道連盟)/尺八師範(都山流)/広島県青少年育成アドバイザー協議会理事/小学校非常勤講師(人間力を伸ばすけん玉)	「心づくり・ともだちづくり」「じぶんづくり・がまんづくり」「けん玉で広島から世界へ」モンゴル・東アフリカ(ウガンダ、ケニア、ルワンダ、コンゴ)・中国モンゴル自治地区、ロシア(ウラン・ウデ) 「家庭の絆づくり」「笑顔の平和づくり」
岩永 誠 (いわたが まこと) (東広島市)	広島大学大学院総合科学研究科教授 日本行動療法学会理事 日本不安症学会理事 日本感情心理学会常任理事	ストレス心理学、実験臨床心理学、音楽心理学(音楽療法) 「青少年の心とケア」「子どもの理解と保護者の関わり」「現代青年の抱える「やさしさ」の病理」 子どもや青年の心の問題や発達に関する問題について
上村 崇 (うえむら たかし) (福山市)	福山平成大学福祉健康学部教授 (哲学、倫理学、道徳教育) 学校教育を研究対象に、教育現場と関わりながら道徳教育、情報教育、安全教育について研究を進めている。	教育倫理学、情報倫理学、性の哲学 道徳教育 「学校における危機管理と安全教育」「情報社会における安全教育」 「モラルの育成を阻害する社会的諸要因」
小田 長 (おだ たけし) (広島市)	広島市社会教育委員会議長/広島市青少年と電子メディアに関する審議会委員/広島県キャンプ協会副会長/廿日市キャンプ協会会長	青少年育成スーパーバイザー ・キャンプ場の管理運営 ・ボランティア活動について ・地域おこしのあり方
加藤 恒光 (かとう つねみつ) (東広島市)	日本写真協会会員、カメラマン ユネスコ、国際協力事業団などの派遣で開発途上の国々40カ国以上を撮影取材した。1983年総理府青年の船リーダーで参加ナマステクラブ・ジャパン代表	地方の国際化のなかで異文化をどのように理解するか アジア諸国の訪問取材を通して学んだこと ネパール/タイ、ラオス国境に活動拠点建設
岸房 康行 (きしむさやすゆき) (広島市)	NPO法人心豊かな家庭環境をつくる広島21理事長/(公社)青少年育成広島県民会議理事長/(株)広島ドラゴンフライズ代表取締役社長/広島県農業協同組合中央会前専務理事	・地産地消 ・食育 ・家庭の教育力
木村 隆司 (きむら たかし) (広島市)	少林寺拳法の道場を主宰し、青少年との修行に取り組みながら、青少年育成と教育に携わっている。青少年育成の現場の体験を通して語りかける。 (宗)金剛禅総本山少林寺広島基町道院道院長/公益財団法人日本釣振興会理事/草莽女性塾主宰/ミリオンエコー出版(株)代表取締役/「釣り画報」「ポートフィッシング」発行/元広島テレビアナウンサー	「『生きる』ということについて」「青少年問題について」「今、世の中で気になること」「ウソの時代に訣別を」 (新社会人向け)「君たちは大人になれるか」「君たちを信じていいか」 (中高生向け)「オイ、そろそろ大人になろうじゃないか」
土田 玲子 (つちだ れいこ) (三原市)	県立広島大学保健福祉学部 作業療法学科教授/県立広島大学大学院 総合学術研究科/保健福祉学専攻 教授 兼務/日本感覚統合学会会長/特別支援教育スーパーバイザー/作業療法士/JDDNET理事	「ちょっと気になる子の理解と支援」…軽度発達障害(学習障害、ADHD、アスペルガー等)の個性を持つ子どもの理解と支援に関するテーマ 「子育てって楽しいね」…子育てを支え、見直すテーマ 「特別支援教育のこれから」…教育関係者に対して、特別支援教育の理解と実践を支援するテーマ
西平 孝治 (にしひら たかはる) (三次市)	酪農家/三次市子ども会育成連絡協議会/つるアート「風花」工房主宰/三次かっぱくらぶ・カヌー	「総合学習と農業」「子育てと親の役割」 子ども会活動全般/野外活動の実技と指導
二宮 皓 (にのみや あきら) (広島市)	比治山大学・比治山短期大学学部長/放送大学前副学長/広島県教育委員会委員/広島大学名誉教授	比較・国際教育学 「世界からみた日本の教育」「心の教育」「世界の学校を旅する」「学力を考える―世界の動向―」「グローバル人材の育成について」
藤井 昌平 (ふじい しょうへい) (広島市)	元広島商工会議所専務理事/国際経営情報コンサルタント(IMIC)代表/キャリア教育/福祉・住環境コーディネーター/終活カウンセラー	「企業の活力強化・海外展開の支援」「地域の活性化・まちづくりの推進」 「人材育成・能力開発」「観光振興・ホスピタリティの醸成」 ・企業の仕組みと役割(企業も人なり、地域社会に貢献) ・社会人としての心得、企業人に求められる姿勢(身だしなみ、言葉使い、マナーなど)
藤枝 義記 (ふじえだ よしのり) (三次市)	元広島県立七塚原青年の家所長/生涯学習サポーター/三次市体育協会古舎支部副支部長兼専門部長(グラウンドゴルフ)/文部科学大臣認定スポーツ・レクリエーション指導者/社会教育主事資格	社会教育全般/集団活動の理論と実技/リーダー育成のための理論と実技/人間関係・仲間づくりの理論と実技/野外活動全般の理論と実技/子ども会育成に関すること(子ども会を育てることとも、その子どもを育てるおとなのあり方等)
藤野 完二 (ふじの かんじ) (岩国市)	環境省認定環境カウンセラー/元中国放送コメンテーター/岩国市地球温暖化対策推進協議会代表	今、地球で起きている現実と子ども達の未来/環境学習と生きぬく知恵(ESD教育)/環境の世紀を生きてということ/子ども達を取り巻く食べ物と水の現実/少子高齢化社会と子ども達の未来/民話と環境学習/和の文化が未来を開く
藤原 凡人 (ふじわら かずと) (安芸郡府中町)	元府中中央小学校長/元府中町青少年育成町民会議会長/前府中町教育委員会委員長	学校教育と家庭教育/親の役割・教師の役割/子どもが育つ土壌づくり/子どもを育むということ/根っこを育てる教育/子どもと生きる
宮崎 文隆 (みやざき ふみたか) (三次市)	「逆手塾」事務局長/(県北レクリエーション協会)顧問/コミュニケーション能力1級資格取得/レクリエーションコーディネーター/「抱きしめて笑湖ハイツカ」実行委員長/キャンプディレクター1級指導者/里山創造研究会事務局長	「青少年が輝き まちが輝く」「夢づくり、人づくり、ふるさとづくり」「人間交流術入門」「コミュニケーション力を磨く」「夢それが輝爆剤」「話し方の輝爆剤」「課題を逆手に人やる気にさせる力」「里山資本主義の創造」「元氣の出る小さな拠点づくり」
三好 久美子 (みよこくみこ) (福山市)	余暇開発士/中国山地やまなみ大学副学長/ひろしまNPOセンター副代表理事/ラーニングネットふくや代表	余暇、生涯学習、社会教育/ボランティア、地域づくり 「こころのギアチェンジ」「地域は子育て応援団」「人が育ち、こころが育つ地域活動」「人生、今が旬」「出会って、知って、つながって」

青少年育成県民運動

- 7月「青少年の非行・被害防止全国強化月間」
- 11月「子ども・若者育成支援強化月間」
- 「あいさつ・声かけ運動」



「子ども・若者育成支援強化月間」

「青少年の非行・被害防止
全国強化月間」
キャンペーンポスター

会員募集 ～入会方法～

私たちがそうであったように子どもたちはやがて大人になっていきます。青少年が夢を持ち、健やかに成長し、自分が育った地域を愛し、社会を構成していくことは私たち全ての願いです。そのための活動を県民運動として取り組んでいます。

県民の皆様方に会員になっていただき、この活動へのご支援をお願いしております。

■賛助会員

会費／個人	年額1口	1,000円
団体	年額1口	10,000円

■正会員

会費／個人	年額1口	3,000円
団体	年額1口	5,000円

- 何口でも結構です。
- 機関紙「せとのあさ」、情報誌「はくくむ」をお送りします。
- 会費の納入方法などは、事務局までお問い合わせください。

▶TEL.082-513-2742

銀行
振込先

広島銀行県庁支店
口座番号／(普通)233251
口座名義／(公社)青少年育成広島県民会議

ゆーすふるサンデー ～若者の・元気な・人に役立つ地域活動の日～

7月第3日曜日は
青少年育成地域活動日

おとなのみなさん! 子どもたちの心を育む“あったかい”地域をつくりませんか。
青少年のみなさん! 探してください。地域にも、きっとあります。あなたの個性が輝く場。

「ゆーすふるサンデー」は、平成11年2月に、広島県、広島県教育委員会、広島県警察本部及び(公社)青少年育成広島県民会議が提唱した「青少年育成地域活動日」の愛称です。

大人と青少年が共同で地域活動を行うことにより、声のかけあえる関係を築き、地域社会が青少年を健全に育成する場となっていく「きかけづくり」の日としています。

従来から行っている行事などを活用し、身近で参加しやすい活動を工夫しましょう。

例) 公園の清掃などのボランティア活動、スポーツ活動、文化活動、自治会や子ども会の体験活動や行事など

ホームページ紹介

(公社)青少年育成広島県民会議の活動を紹介しています。

詳しい情報はこちらから▶<http://www.hiro-payd.or.jp>



平成27年7月発行 第144号
公益社団法人 青少年育成広島県民会議
〒730-8511 広島市中区基町10-52 県庁県民活動課内
TEL.082-513-2742 FAX.082-511-2173
<http://www.hiro-payd.or.jp>